

プレスリリース
2018年12月18日

ジャーナリストへの深刻な攻撃、虐待に関する RSFの2018年版総括 - すべてのカテゴリーで数値が上昇

[★RSFの2018年版総括をダウンロードする](#)

国境なき記者団（RSF）が本日発表した、世界のジャーナリストに対する深刻な攻撃と虐待に関する総括によると、2018年は計80人のジャーナリストが殺害され、348人が懲役に服し、60人が拘束されており、報道関係者に対してかつてないレベルの敵意が向けられていることが明らかになっている。

RSFの総括はすべてのカテゴリーで上昇を示している。殺害、投獄、拉致、強制的な失踪が全て増加した。18年に至るまで、ジャーナリストがこれほどの暴力や虐待に晒されたことはなかった。

今年度は、すべてのカテゴリー（*）で、職務絡みで殺害されたジャーナリストの数が増加したことが特徴だ。8%～80%の範囲で増え、殺害された職業ジャーナリストの総数は2017年の55人から今年度の63人と、15%増加した。[この数値は、それまで3年間にわたって減少し続けていた。](#)

広く報道された、[サウジアラビアのコラムニスト、ジャマル・カショギ](#)と若き[スロバキアの調査報道ジャーナリスト、ヤン・クツィアク](#)の殺害は、報道の自由の敵がどれほど執念であるかを如実に反映している。2018年に殺害されたジャーナリストの半数以上が、故意に対象として選ばれている。

RSFの事務局長、クリストフ・ドロワールはこう述べている。

「ジャーナリストに対する暴力は今年度かつてない水準に達しており、この状況は危機的だ。良心を持たない政治家、宗教的指導者、事業家が発言し、時には公開の場で表明される、ジャーナリストに対する憎しみは現場での悲劇的な結果を招いている。これはジャーナリストに対する暴力の異常な上昇に反映されている。こうした憎しみの表現は、この問題で大きな責任を負うソーシャルネットワークで増幅されて暴力を合法化している、結果としてジャーナリズムと、民主制度そのものを少しずつ、日常的に侵食している」

4月に[最新の世界報道自由度インデックス](#)を発表したRSFは、政治家が奨励する報道機関への攻撃の上昇と、独裁政権による偏向されたジャーナリズムの流布活動へ既に警鐘を発している。

拘束または人質にとられるジャーナリストが増加

[アフガニスタンは2018年にてジャーナリストにとって最も危険な国](#)であり、15人が殺害されています。これに11人が殺害されたシリアと、紛争地域外では最も危険なメキシコ（2018年にて9人のジャーナリストが殺害）が続く。6月に[キャピタル・ガゼット新聞社](#)で5人の従業員が銃により殺害されたことを受け、米国もまた、最も危険な国々に名を連ねている。

年度末までに世界中で拘束されたジャーナリストの数は、昨年度の同時点における326人から348人へ上昇しています。2017年と同様に、世界中で投獄されているジャーナリストの半数以上がわずかに5カ国に集中している。中国、[イラン](#)、サウジアラビア、エジプト、トルコだ。[ジャーナリストを最も多く投獄しているのは中国で](#)、現時点で60人が懲役に服している。そのうち4分の3は非職業ジャーナリストだ。

現在人質として拘束されているジャーナリストの数は60人であり、54人であった昨年の同時期と比較して11%上昇している。1人を除く全員が、中東諸国に集中している。シリア、イラク、イエメンだ。これには6人の外国人ジャーナリストが含まれる。

ISILのイラクにおける敗北とシリアにおける撤退にも関わらず、シリアで3年拘束された後に釈放された[日本人ジャーナリスト、安田純平](#)を除き、これら人質の運命についてはほぼ何も明らかにされていない。[あるウクライナ人ジャーナリスト](#)は彼をスパイと見なす、独立宣言地域の「ドネツク人民共和国」にて拘束されたままです。RSFは、2018年に失踪したジャーナリストの例も新たに3件記録している。2件は南米で、1件はロシアで発生している

1995年以降、RSFが毎年編纂する、ジャーナリストに対する虐待と深刻な暴力の総括は正確なデータに基づいている。掲載された各ジャーナリストの死亡、拘束、誘拐、失踪が彼らの報道活動の直接的な結果であると断定できるか、大幅な確証を得られるよう、私たちは詳細な情報を収集している。

(*) こうした数値には職業ジャーナリスト、非職業ジャーナリスト、報道従事者が含まれる。

国境なき記者団について

国境なき記者団（RSF）は、国際連合、国連教育科学文化機関（UNESCO）、欧州評議会、フランコフォニー国際機関（OIF）、人権に関わるアフリカ委員会において協議資格を有し、公益性を認められている国際的な非政府、非営利組織。パリに本部を置き、17の都市（ベルリン、ブリュッセル、ジュネーブ、ヘルシンキ、イスタンブール、カラチ、キエフ、ロンドン、マドリッド、メキシコシティ、リオデジャネイロ、サンフランシスコ、ス

ストックホルム、台北、チュニス、ウィーン、ワシントン) にて事務局とセクションを持ち、130か国において特派員のネットワークを擁して15の現地組織と提携している。

プレス連絡先

日本特派員

Makiko SEGAWA (せがわ・まきこ)

Email: makikosegawa@gmail.com

Mobile: 090-9950-4970

Masahiro LEE (り・まさひろ)

Email: nezumi-ushi-tora@asagi.waseda.jp

Mobile: 090-1985-1333

東アジア総局 (台北)

Hsiang-yi TANG (Chinese and English)

Cédric ALVIANI (English and French)

Email: taipei@rsf.org

Mobile: +8869 0227 7033